

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組について

本年5月27日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、いなべ市の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組を以下のとおりまとめました。

なお、「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されています。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することが目的とされています。しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。このことを十分考慮し、今後のいなべ市の教育の一層の充実を図ってまいります。

いなべ市教育委員会事務局

学校教育課

令和3年9月

I いなべ市における教科に関する調査結果の分析

1 小学校 国語

【よくできていた問題】

②一

<問題の概要>

- ・【資料】の文章が、「何について、どのように書かれているか」の説明のうち、最適なものを選択（4 択）する問題。（正答 1）

<出題の趣旨>

- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握できるかどうかをみる。

②二

<問題の概要>

- ・面ファスナーに関する【資料】のなかの文章「・・・ホックやボタンより留め外しの簡単な面ファスナーの・・・」において、「より」と同じ使い方のものを選択（4 択）する問題。
（選択肢）1 音楽会は九時より始まります。
2 雨天により試合は延期になりました。
3 会場へは正門よりお入りください。
4 今年の夏は去年の夏より暑いです。（正答 4）

<出題の趣旨>

- ・思考に関わる語句の使い方を理解し、語や文章の中で使うことができるかどうかをみる。

③三(1)ア～ウ

<問題の概要>

- ・ア「…ボールが残されたまま（ころがって）いるのを…」→正答率 77.2%
 - ・イ「…すみの方に（つみ）重ねられています。」→正答率 55.6%
 - ・ウ「…かたたりすることが、（げんいん）なのだ…」→正答率 79.3%
- （正答 ア 転がって イ 積み ウ 原因）

<出題の趣旨>

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

③三(2)イ

<問題の概要>

- ・「時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。」で「残されています」の主語として適切なものを選択（4 択）する問題。（正答 3（一輪車））

<出題の趣旨>

- ・文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。

【課題となった問題】

①二

＜問題の概要＞

- ・上野さんが、【スピーチ】の練習で、＜資料②＞と＜資料③＞を使った理由の説明として最適なものを選択（4 択）する問題。

（正答 4）

＜出題の趣旨＞

- ・資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる。

＜解答状況＞

- ・＜資料②＞と＜資料③＞が、津田梅子の二つの業績について要点をまとめて端的に表したものである、ということが理解できていない。
 - ・「1」と解答（7.8%）
 - ・「2」と解答（10.2%）
 - ・「3」と解答（13.7%）

1 事実と感想とを区別できるように、「中」で業績、「終わり」で自分の感想を話している。

2 感想を印象づけられるように、「はじめ」と「終わり」で自分の感想を話している。

3 二つの事実を区別できるように、「はじめ」で一つの業績「中」でもう一つの業績を話している。

4 事実と感想とを関連づけられるように、「中」で二つの業績と自分の感想の両方を話している。

一 上野さんは、「スピーチメモ」を作り、「スピーチ」の練習をしています。業績を明確に伝えるために、上野さんはどのような構成で話していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

②三

＜問題の概要＞・右のとおり

（正答例）

- ・ゴボウの実が犬の毛にからみついていたことをヒントに、かぎ状のフックが輪の形をしたループに引っかかることでくっつく仕組みの面ファスナー

＜出題の趣旨＞

- ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけることができるかどうかをみる。

＜解答状況＞

- ・「ヒントになったこと」と「面ファスナーのくっつく仕組み」の両方がわかるように【資料】の中の文章等を取り上げて書きなさいという設問であるが、「ヒントになったこと」と「面ファスナーの仕組み」の一方しか書いていない解答や、両方とも書いていない解答が多くあった。
 - ・「面ファスナーの仕組み」なし（46.2%）
 - ・「ヒントになったこと」なし（12.6%）
 - ・両方なし（9.9%）

（誤答例：「面ファスナーのくっつく仕組み」なし）

- ・愛犬の毛にたくさんついた野生のごぼうの実は、先の曲がったかぎ状のトゲでおおわれており、これをヒントに面ファスナーを作り出した。

三 相川さんは、「資料」の——部を読み、面ファスナーのくっつく仕組みについて考えています。イラストは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- ヒントになったこと、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くこと。
- 「資料」の中の文章と……の「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十文字以上、八十文字以内にまとめて書くこと。

※左のけんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらかで行を変えないで、続けて書きましょう。

相川さん

②四

<問題の概要>・右のとおり

(正答例)

- ・面ファスナーはしっかりとくっつきかん単にはがせることから、物がうかぶ国際宇宙ステーションの中で、身の回りの全ての物の固定に使われている。

<出題の趣旨>

- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・「国際宇宙ステーションの中での使われ方」は書いてあるが、「面ファスナーのよさ」について取り上げていない解答が非常に目立った。

・「面ファスナーのよさ」なし (48.1%)

(誤答例：「面ファスナーのよさ」がない)

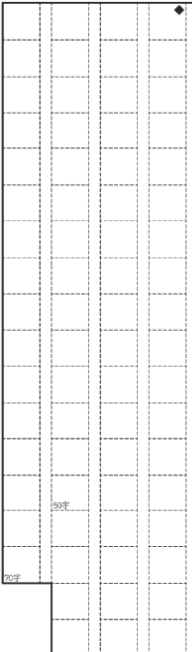
- ・国際宇宙ステーションの中では、ペンやスプーン、カメラやコンピュータなど、身の回りの全ての物を固定するために面ファスナーが使われている。

四 相川さんは、「資料」を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〔条件〕

- 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。
- 「資料」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十文字以上、七十文字以内にまとめて書くこと。

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。



③二

<問題の概要>・右のとおり

(正答例)

- ・しかし、遊具置き場のそうじは、かたづけで時間が足りなくなり、掃きそうじやふきそうじに手が回らないことがあるそうです。たん当の人だけに任せると大変なので、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。

<出題の趣旨>

- ・目的や意図に応じて、理由を明確にしながらかたづけるよう書き表し方を工夫できるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・『「そうじたん当の人などがかたづければよい」という考えに反対する」という意見が明確に書かれていない解答や、反対の理由の中で【西田さんの話】から言葉や文を取り上げていない記述が非常に目立った。該当する解答 (31.8%)・無回答 (7.0%)


(誤答例：「反対する理由」なし)

- ・わたしは、そうじたん当の人だけがかたづけをすればよいという考えに反対です。そうじたん当の人にかたづけを任せるといふ考えはよくないです。

二 丸山さんは、―――部の「そうじたん当の人などがかたづければよい」と考える人を説得するために、「西田さんの話」を用いて「文章の下書き」の……部をくわしく書き直そうとしています。あとの条件に合わせて書きましょう。

〔西田さんの話〕(遊具置き場のそうじ担当)

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけています。でも、そのために時間が足りなくなってしまい、はきそうじやふきそうじまで手が回らなくなることがあります。そんなときは、きれいにそうじができなくて困ります。



西田さん

〔条件〕

- 「そうじたん当の人などがかたづければよい」という考えに反対する意見と、その理由を書くこと。
- 「西田さんの話」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十文字以上、百字以内で書くこと。

③三(2)オ

<問題の概要>

- ・「その他にも、遊び終わったらすぐに遊具をかたづけることがむずかしい場合もあるでしょう。」の「すぐに」はどの言葉をくわしくしているか選択（4択）する問題。

- （選択肢）
- 1 遊び終わったら
 - 2 遊具を
 - 3 かたづける （正答 3）
 - 4 むずかしい

<出題の趣旨>

- ・ 文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることができるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・ 「1 遊び終わったら」と解答（28.8%）、「2 遊具を」と解答（22.3%）が非常に多かった。
- ・ 修飾と被修飾との関係を、語句の直前や直後と捉えてしまった。文の構成を理解することができていないと考えられる。

【課題等】

- 目的に応じて、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることはできている。
- 資料を用いる目的を理解したり、目的や意図に応じて資料を使って話したりすることはできている。
- 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことはできている。
- 目的に応じて、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
- 目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけることに課題がある。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することに課題がある。
- 文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることに課題がある。

【課題となった内容に対する今後の取組の方針】

- ◇目的に応じて、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。
 - ・ 読み手に自分の考えがよく伝わるように書くためには、目的や意図に応じて、詳しく書く必要がある場合や簡単に書いた方が効果的である場合など、書き表し方を工夫することが重要である。また、簡単に書いたり詳しく書いたりする際には、文章の量だけではなく、具体的な事実を挙げて、読み手が納得できるように分かりやすく述べることが重要となる。
 - ・ 指導にあたっては、目的や意図、文章の種類や特徴に応じて、詳しく書く必要がある場合や簡単に書いた方が効果的である場合を、自ら判断して書くことができるように指導の充実を図っていく。

◇目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけることができるようにする。

- ・実生活において児童が触れる文章には、図表やグラフなどを含むものが多い。そのため、学習指導においては、そのような文章を読む際に、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにした上で、文章と図表などの関係を捉えて読むことができるようにすることが大切である。
- ・指導にあたっては、表やグラフの読み取りが学習の中心となるなど、他教科等において行うべき指導とならないよう留意しながら、図表やグラフを文章と結び付けて読み、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができるように指導の充実を図っていく。

◇目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるようにする。

- ・要約するとは、文章全体の内容を正確に把握した上で、元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章の内容を短くまとめることである。
- ・指導にあたっては、要約する目的を意識して、文章全体から内容の中心となる語や文を選び、分量などを考えて要約することができるよう指導の充実を図っていく。

◇文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることができるようにする。

- ・修飾と被修飾との関係に気を付けて、文の構成を理解することは、自分の思いや考えをより適切に表現する上で重要である。また、そのことに気付かせることも大切である。
- ・指導にあたっては、修飾語には動きを表す語句を詳しくする場合と、ものや人などを詳しくする場合があることを理解できるようにする必要がある。そのためには、修飾語を加えて文を詳しくしたり、修飾語がどの語句を詳しくしているのかをはっきりさせたりするなど、効果的な指導を行っていく。また、修飾語は直前や直後の語句を詳しくすると捉えてしまうことがあるため、離れた語句を修飾する場合もあることを理解できるようにしていきたい。

2 小学校 算数

【よくできていた問題】

①(2)

<問題の概要>

- ・「500mを7分間で歩く速さで歩き続けると、1000mを歩くのに何分間かかるか」を求める問題。

(正答 14分間)

<出題の趣旨>

- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる。

①(4)

<問題の概要>

- ・午後1時35分から50分後の時刻を答える問題。(正答 午後2時25分)

<出題の趣旨>

- ・条件に合う時刻を求めることができるかどうかをみる。

③(1)

<問題の概要>

- ・6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ問題。(正答 エ)

<出題の趣旨>

- ・棒グラフから、数量を読み取ることができるかどうかをみる。

③(2)

<問題の概要>

- ・学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ問題。(正答 ウ)

<出題の趣旨>

- ・棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる。

④(1)

<問題の概要>

- ・余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を求める問題。(正答 4箱)

<出題の趣旨>

- ・示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができるかどうかをみる。

【課題となった問題】

①(3)

<問題の概要>

- ・二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ問題。(正答 ア)

<出題の趣旨>

- ・速さを求める除法の式と商の意味を理解しているかどうかをみる。

<解答状況>

- ・選択肢2「1分間あたりに進む道のりは80mと71mなので、イの方が速い」を選択(27.0%)

②(3)

<問題の概要>

- ・二等辺三角形を組み合わせてできる平行四辺形の面積を求める問題。

<出題の趣旨>

- ・複数の図形を組み合わせてできる平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・「平行四辺形の高さをどのように求めたかがわかるように書く」という条件に対し、その記述がない解答が目立つ(解答類型5)(8.9%)
- ・平行四辺形の高さを、 $6.5 \times 2 = 13$ とした解答(解答類型11)(7.0%)

[3] 次のような二等辺三角形があります。

上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。

平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。
 辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかわかるようにしましょう。
 また、平行四辺形ABCDの面積が何cm²になるのかも書きましょう。

③(4)

<問題の概要>

- ・帯グラフから、割合の違いが一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く問題。(正答)

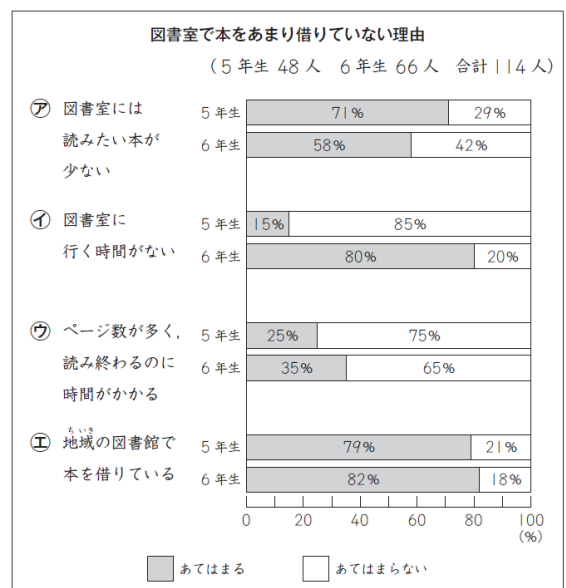
- ・割合の違いが一番大きな項目はイで、5年生15% 6年生80%です。

<出題の趣旨>

- ・帯グラフで示された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合が記述できるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・「エを選択」が多い(解答類型8)(17.8%)
- ・無回答(10.0%)



④(2)

<問題の概要>

- ・ 8人に4ℓのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く問題。
(正答 $4 \div 8 = 0.5$ 0.5ℓ)

<出題の趣旨>

- ・ 商が1より小さくなる等分除(整数) ÷ (整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算することができるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・ 「 $8 \div 4 = 2$ 」の誤答が非常に多い(解答類型9)(40.8%)

④(3)

<問題の概要>

- ・ 30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く問題。
(正答)




- ・ 30mを1としたときに、0.1にあたるのは3mです。12mは3mの4つ分になるので、30mを1としたときの0.4にあたります。

<出題の趣旨>

- ・ 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数量の割合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・ 「ゆうまさんの説明と同じように」だからゆうまさんの説明の数値を問題に合わせて変えればよいのだが、できなかった。
(誤答例)
- ・ 30mを1としたときに、0.1にあたるのは2mです。12mは2mの6つ分になるので30mを1としたときの0.7にあたります。
- ・ 無回答(11.4%)

【ゆうまさんの説明】	
	20mを1としたとき、0.1にあたる長さは2mです。 14mは、2mの7つ分になるので、20mを1としたときの0.7にあたります。
12mのテープと30mのテープもあります。 たくみさんたちは、12mは30mの何倍かについて考えています。	
	$12 \div 30 = 0.4$ で、0.4倍です。
	30mを1としたとき、12mが本当に0.4にあたるのかな。
30mを1としたときに12mが0.4にあたるわけを、【ゆうまさんの説明】と同じように、0.1にあたる長さがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。	

【課題等】

- 条件に合う時刻を求めることや、棒グラフから項目間の関係を読み取ることができている。
- 示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができている。
- 「速さ」「時間」「道のり」のそれぞれの意味や関係、除法で得られた商の意味を理解することに課題がある。
- 商が1より小さくなる（整数）÷（整数）の場面で、正しく数量の関係を捉えることに課題がある。
- 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用することに課題がある。
- 三角形の面積、二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方について理解したり、記述したりすることに課題がある。
- 帯グラフで表された複数のデータを比較し、その特徴を理解することに課題がある。

【課題となった内容に対する今後の取組の方針】

◇「速さ」「時間」「道のり」のそれぞれの意味や関係、除法で得られた商の意味が理解できるようにする。

- ・どちらが速いかを比べる際には、単位量を道のり又は時間で比べる場合があり、どちらを単位量として設定しているかについて考え、速さを求める除法の式と商の意味を理解できるようにすることが重要である。
- ・指導にあたっては、図を用いるなどして、1分間あたりに進む道のりを求めていることを確かめる活動を考えたり、式の中の数と、表の中の数値を対応させることで、1分間あたりに進む道のりを求めていることを理解できるようにするなど指導の充実を図っていく。

◇商が1より小さくなる（整数）÷（整数）の場面で、正しく数量の関係を捉えることができるようにする。

- ・除法の場面では、何が被除数で、何が除数かを捉えて立式することができるようにすることが重要である。児童の中には、除法が（大きい数）÷（小さい数）であると捉えていたり、問題文に示されている数値の順序通りに立式したりしている場合がある。
- ・指導にあたっては、例えば、8人に4Lのジュースを等しく分けるということ、4Lのジュースを8人に等しく分けると言い換えたり、 $4 \div 8 = 0.5$ という立式の理由を解釈する場を通して、問題場面に対応した式について話し合ったりする活動が考えられる。その際、具体物を操作したり、絵や図に表したりしながら、その理由を説明できるようにさせていきたい。

◇小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用できるようにする。

- ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、整数を用いた倍の意味を捉え直して、小数を用いた倍についても、基準量を1としたときに比較量が幾つに当たるかという意味について理解できるようにすることが重要である。

- ・指導にあたっては、例えば、テープ図などを用いて、基準となる1に対する大きさを10等分し、0.1に当たる大きさの幾つ分でテープの長さを捉えることができるような活動や、その活動を通して、倍について小数でも整数でも、基準量を1としたときに比較量が幾つに当たるかという意味で捉えることができるように指導の充実を図っていく。なお、第2学年からの倍の学習では、図などを用いて、基にする大きさを意識できるようにしていきたい。

◇三角形の面積，二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方について理解したり，記述したりすることができるようにする。

- ・図形の面積の学習では、公式を導き出す過程において、図形のどこの長さに着目すると面積を求めることができるのかを理解できるようにすることが重要である。また、公式を用いて面積を求める際には、底辺と高さの関係を理解し、必要な情報を選び出すことができるようにすることも重要である。指導にあたっては、例えば、公式を用いる上で不要な辺や線分の長さを示した図を提示し、求積のために必要な情報を選び出す活動を取り入れたい。
- ・一方、複数の図形を組み合わせた図形について、面積を求めるために必要な辺の長さや高さを、組み合わせる図形の辺の長さや高さから求めるなど、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えることができるようにすることが重要である。指導にあたっては、面積を求めようとする図形の辺の長さや位置関係、分かっている図形の辺の長さや位置関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明できるようにすることを大切にしていきたい。また、等積変形をしたり、合同な図形を組み合わせて変形したりする際に、変形する前の図形と変形した後の図形の関係を説明する活動を充実させたい。

◇帯グラフで表された複数のデータを比較し，その特徴を理解できるようにする。

- ・複数のデータについて項目の割合を比較するために、帯グラフからそれぞれの割合を読み取ることができるようにすることが重要である。また、各項目の特徴や傾向を読み取ることができるようにすることも重要である。
- ・指導にあたっては、帯グラフからデータの特徴や傾向を読み取るために、帯グラフのどの部分に着目したのかななどを説明できるようにする。また、集めたデータを分析する際、データの種類や項目の数を考え、目的に応じて、これまでに学習してきている簡単な表や二次元の表、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフといった表現から適切なものを選択して表してみることで、データの特徴や傾向を捉え、結論について判断できるように指導の充実を図っていく。

3 中学校 国語

【よくできていた問題】

①一

<問題の概要>

- ・話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択(4択)する問題。

(正答 2)

<出題の趣旨>

- ・話し合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。

①二

<問題の概要>

- ・話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択(4択)する問題。

(正答 3)

<出題の趣旨>

- ・質問の意図を捉えることができるかどうかをみる。

④一①

②

<問題の概要>

- ・漢字を読む問題。 (正答 ①伸ばして(の) ②詳細(しょうさい))

<出題の趣旨>

- ・文脈に即して漢字を正しく読むことができるかどうかをみる。

【課題となった問題】

②一

<問題の概要>

- ・意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する問題。(正答 A4, B1)

<出題の趣旨>

- ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・Aを4と解答した割合は高い(59.7%)が、Bを1と解答した割合が低い(25.7%)。
- ・第2段落が第1段落で述べている根拠となる具体例を述べたものという捉えができていない。

②

山田さんは、国語の時間に、「言葉の使い方について」というテーマで意見文を書いています。次は、山田さんが書いた「意見文の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。①から④は、段落の番号を表します。

【意見文の下書き】

① SNS(ソーシャルネットワークサービス)などを活用し、インターネット上で文字を通じたやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。^④からだ。

② 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待合の相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、待合の場所までの交通手段を尋ねるつもりで「来て来るの」と書いたところ、「どうして行っていないの」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を覚えないうように「いいねに書いていれば、このようなことは起こらなかったらう。」

③ 皆さんの中には、友達同士であれば短い言葉でも十分に意思疎通が図れると考えたり、短い言葉でやりとりができる手軽さこそがSNSのよさだと考えたりする人もいるだろう。しかし、伝えたいことが正しく伝わらなければ、私が経験したように相手に誤解を覚え、不快を思いやせてしまうこともあるのだ。

④ SNSで自分の思いや考えを表現する場合には、内容を相手に正しく伝えるために、言葉を十分に吟味して使うことが大切だ。少なくともあの経験以来、私は、SNSを使ってやりとりをする際には、自分が書いた言葉を必ず読み返してから発信するようにしている。

一 山田さんは、「意見文の下書き」を読み返して、①と②のように直しましたが、その意図として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

① 段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

② 段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。

③ 段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。

④ 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。

⑤ 直後の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

③四

<問題の概要>

- ・「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているか。また、そのような接し方をあなたはどう思うかを書く問題。

(正答例)

- ・「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていることがわかる。このような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。

<出題の趣旨>

- ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・3条件「どのように評価しているか」「どのように接しているか」そして「そのことをあなたはどうかを満たして記述されていない解答が多い。
- ・無回答が非常に多い(27.3%)

④

【紹介】にも「黒」は「吾輩」が「黒」をどのように評価しているか、また、あなたはそのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「文章の一部」から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしているかが分かるのかを書きなさい。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書きなさい。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

④三

<問題の概要>

- ・「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択（3択）する問題。

——線部④「行く」とありますが、「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類を次の1～3までの中から一つ選びなさい。

- 1 尊敬語 2 謙譲語 3 丁寧語
(正答 伺う, 謙譲語)

<出題の趣旨>

- ・相手や場に応じて敬語を適切に使うことができるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・「行く」の謙譲語として多かった誤答は「行かせていただく」である。
- ・「伺う」や「参る」が「謙譲語」であることを理解していない。

【課題等】

- 話し合いの中で、質問の意図や話題、方向を捉えることはできている。
- 書いた文章を互いに読み合う場面において、文章の構成にどのような工夫があるかを捉えることはできている。
- 文脈に即して漢字を正しく読むことはできている。
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解することはできている。
- 推敲する場面に、語句や文の使い方、段落相互の関係について考えることに課題がある。
- 文脈の中における語句の意味を理解したり、場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解したりすることに課題がある。
- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題がある。
- 相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題がある。

【課題となった内容に対する今後の取組の方針】

◇推敲する場面に、語句や文の使い方、段落相互の関係について考えることができるようにする。

- ・目的や意図に応じて、読みやすく分かりやすい文章にするためには、読み手の立場に立って文章を整える必要がある。その際、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果などを確かめることが大切である。
- ・指導にあたっては、例えば、自分の考えを伝えたり印象付けたりする上で、書いた文章の表現がどのように働いているかを確かめるなどの学習活動が考えられる。その際、自分が書いた文章を説明や具体例、描写などに着目して見直し、それらの表現が、自分の考えを明確に伝えるために機能しているか、どのような効果を生んでいるかなどについて検討し、その上で誤解のない表現やより効果的な表現にしていくように指導の充実を図っていく。

◇文脈の中における語句の意味を理解したり、場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解したりすることができるようにする。

- ・文学的な文章を読むためには、言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、観点を定めて読むことが必要であり、そのことによって深い理解や感動が得られる。文章の中の時間的、空間的な場面の展開、登場人物の相互関係や心情の変化、行動や情景の描写などに注意しながら読み進められるようにすることが大切である。
- ・指導にあたっては、語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈における意味を具体的かつ個別的に捉え、その語句が文章の中で果たしている役割を考えるように指導するとともに、指示する語句や接続する語句が、文章の中で果たしている役割などに注意するように指導していく。例えば、文学的な文章を読んで新しく出合った言葉を複数取り上げ、辞書にある様々な意味から文脈上の意味を捉えるなどの学習活動を行う。同時に、語句の意味について調べたことを記録したり、その語句を使った短文を作ったりするなど、実際の文章の中で使うことができるように指導することも大切にしたい。また、文学的な文章を読む際には、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えるように指導する必要があるため、目的に応じて、細部の描写にも着目しながら物事の様子や場面、行動や心情などの変化を丁寧に捉えることができるよう指導の充実を図っていく。

◇文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるようにする。

- ・文学的な文章を読んで自分の考えをもつためには、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりすることが大切である。その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることで自分の考えを確かなものにすることが重要となる。
- ・指導にあたっては、小説や随筆などを読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動や、比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深めるような活動を充実させる。また、読書をすることによって、知識や情報を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えが広がったりすることを実感できるような活動を行うなど、指導の充実を図っていく。

◇相手や場に応じて敬語を適切に使うことができるようにする。

- ・言葉遣いについては、小学校での学習を踏まえ、敬語を含め広く相手や場に応じた言葉遣いができるようにしたい。その際、公的な場面で改まった言葉遣いをすることのほか、会話をしたり手紙を書いたりする際に相手に応じた語句を選んで用いることなどが大切となる。
- ・指導にあたっては、例えば、社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動を行う際、自分の発信した情報がどう受け止められるかを想像したり、相手の状況や媒体の特性などを考慮したりして書くことができるよう、指導の充実を図っていく。

4 中学校 数学

【よくできていた問題】

①

<問題の概要>

- ・ $(5x + 6y) - (3x - 2y)$ を計算する問題。(正答 $2x + 8y$)

<出題の趣旨>

- ・ 整式の加法と減法の計算ができるかどうかをみる。

⑤

<問題の概要>

- ・ 反復横跳びの記録の中央値を求める問題。
(正答 54)

記録
43 46 46 52 53 55 56 56 56 57

(単位：回)

<出題の趣旨>

- ・ 与えられたデータから中央値を求めることができるかどうかをみる。

⑦(1)

<問題の概要>

- ・ 与えられた表やグラフから、砂の重さが 75g のときに、砂が落ちきるまでの時間が 36.0 秒であったことを表す点を求める問題。(正答 点C)

<出題の趣旨>

- ・ 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。

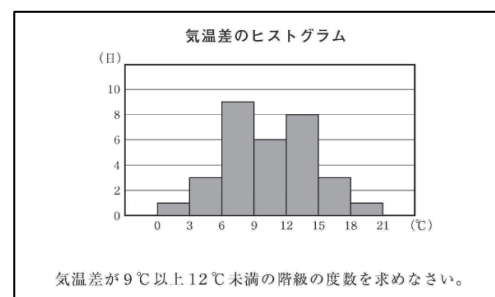
⑧(1)

<問題の概要>

- ・ 気温差が 9℃以上 12℃未満の階級の度数を求める問題。
(正答 6)

<出題の趣旨>

- ・ ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができるかどうかをみる。



【課題となった問題】

⑦(2)

＜問題の概要＞

- ・原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとして、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する問題。

(正答例)

- ・原点Oを通る直線のグラフをかき、 $y = 120$ のときの x 座標を読む。

＜出題の趣旨＞

- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

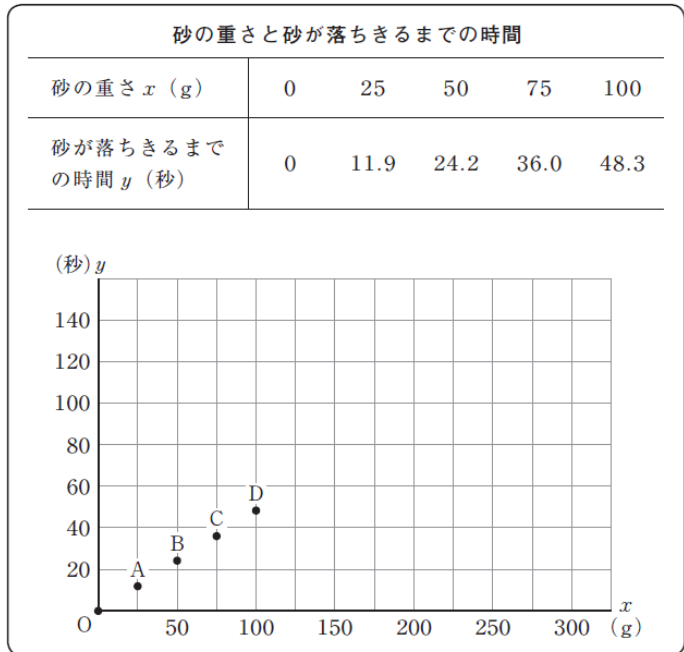
＜解答状況＞

- ・具体的に、関数のグラフの式を求めたり、グラフの交点の座標を求めたりすることはできても、どのように求める(問題解決する)かという「問題解決の方法」について説明することのハードルは非常に高い。
- ・解答類型 99 が (22.4%)、無回答 (22.4%) と約 5 割となっている。

(誤答例)

- ・砂の重さが増えても、すべての点が同じ直線上にあるので、このグラフは比例していることがわかる。(解答類型 99)
- ・2分は120秒だから、点が一直線上で120のところを通過している重さをグラフでさがせばよい。(解答類型 3)
- ・2分=120秒、 $75 : x = 36 : 120$ (解答類型 7)

調べた結果



⑥(3)

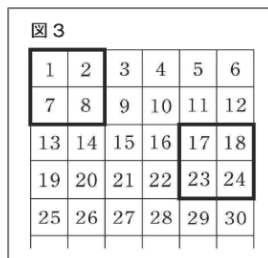
＜問題の概要＞

- ・四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する問題。

(正答例 四角で囲んだ4つの数の和は、左上と右下の数の和の2倍である)

＜出題の趣旨＞

- ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかをみる。



真菜さんの計算

$$\begin{aligned} & n + (n+1) + (n+6) + (n+7) \\ &= n + n + 1 + n + 6 + n + 7 \\ &= 4n + 14 \\ &= 2(2n + 7) \end{aligned}$$

n	$n+1$
$n+6$	$n+7$

＜解答状況＞

- ・2つの数の位置は左上と右下となるが、それが捉えられなかった。無回答 (30.0%) と多い。

$2(2n + 7)$ の $2n + 7$ は、 $n + (n + 7)$ と変形することができます。このことから、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和は、左上、右上、左下、右下の数のうち、ある2つの数の和の2倍であることがわかります。

四角で囲んだ4つの数の和は、どの位置にある2つの数の和の2倍ですか。「は、である。」という形で書きなさい。

8(3)

<問題の概要>

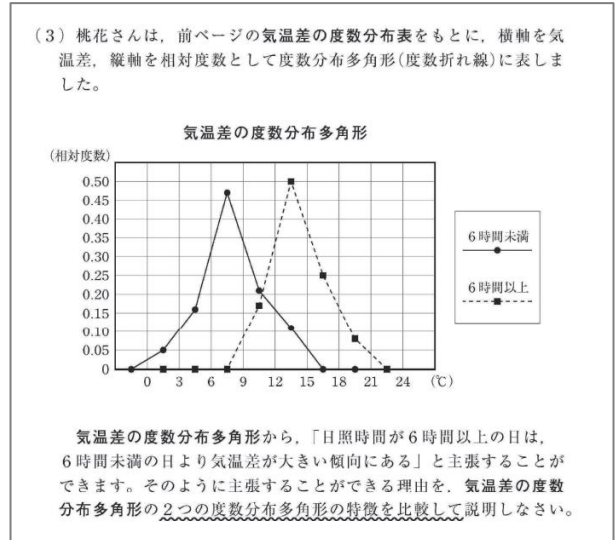
- ・グラフの特徴を基に説明する問題。

(正答例)

- ・2つの度数分布多角形が同じような形で、6時間未満のよりも6時間以上の方が右側にあるから。

<出題の趣旨>

- ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。



<解答状況>

- ・度数分布多角形やヒストグラムの全体の形等から、そのデータの傾向や特徴を捉え数学的に表現することに課題がある。また、2つの度数分布多角形を比較し、その特徴を表現することにも大きな課題がある。

(誤答例)

- ・6時間未満の気温差の度数分布多角形に比べ、6時間以上の気温差の度数分布多角形は階級が大きいから。
- ・日照時間が6時間以上の日と6時間未満の気温差の度数分布多角形を比べると6時間以上の日の方が相対度数の最高値が高いため。
- ・無回答 (31.9%) と多い。

9(3)

<問題の概要>

- ・ $\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く問題。

(正答例 $\angle ARG$, $\angle ASG$ のそれぞれの大きさは変わらない。)

<出題の趣旨>

- ・ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができるかどうかをみる。

<解答状況>

- ・「 $\angle ARG$ と $\angle ASG$ の角の大きさは、常に等しくなる。」「 $\angle ARG$ と $\angle ASG$ の大きさは、変わらない。」という記述があったが、この表現では、 $\angle ARG = \angle ASG$ という意味になる。正確には「それぞれの」が必要になる。
- ・無回答 (29.2%) と多い。

図7

図8

二人は、図7、図8で、四角形ARGSが長方形にならないことから、四角形ARGSがどんな四角形になるか話し合っています。

直輝さん「 $\triangle GHI$ を動かすと四角形ARGSの4つの辺の長さはそれぞれ長くなったり短くなったりするよ。角の大きさはどうなるかな。」
 由衣さん「 $\angle RAS$ と $\angle RGS$ の大きさはそれぞれ90°で変わらないね。 $\angle ARG$ と $\angle ASG$ の大きさはどうかな。」

$\triangle GHI$ を動かしても、四角形ARGSの $\angle ARG$ と $\angle ASG$ の和はいつでも180°になります。このほかに、 $\angle ARG$, $\angle ASG$ の大きさについて、いつでもいえることを書きなさい。

【課題等】

- 整式の加法と減法の計算をすることはできている。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができている。
- 与えられたデータから中央値を求めたり、ヒストグラムからある階級の度数を読み取ったりすることはできている。
- 数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することに課題がある。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題がある。
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに引き続き課題がある。
- ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することに課題がある。

【課題となった内容に対する今後の取組の方針】

◇数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明できるようにする。

- ・数の性質について成り立つ事柄を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明できたり、数学の事象から問題を見だし、数学的な推論などによって問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察することができたりすることが大切である。
- ・指導にあたっては、一旦解決された問題やその解決過程を振り返り、問題の条件や仮定を見直したり、共通する性質を見いだしたりすることを通して統合的・発展的に考察することができるよう指導に工夫を加えていきたい。

◇事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明できるようにする。

- ・実験で得られたデータを理想化したり単純化したりして、その特徴を的確に捉えることができたり、日常生活における問題の解決に数学を活用する方法を考え、説明できたりすることが重要である。
- ・指導にあたっては、日常的な事象における伴って変わる二つの数量について、観察や操作、実験などの活動から得られたデータを、表やグラフに表現することを通して、その二つの数量の関係を捉えることができるような場面を設定する。例えば、表や数値を用いて求めた割合が一定であると考えたり、座標平面上に表された点が原点を通る一直線上にあると考えたりするなど、理想化したり単純化したりすることで、二つの数量の関係を見だし問題を解決できるようにしたい。また、解決の方法を説明する場面においては、例えば、「直線のグラフをかいて求める」や「 $y = 120$ を代入する」など、説明として不十分なものを取り上

◇データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにする。

- ・データの分布の様子を捉える場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて判断できるようにするとともに、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取り批判的に考察し判断することを通して、統計的に問題解決することができるようにすることが大切である。

- ・指導にあたっては、データの分布の比較から検討し、判断する場面を設定することが考えられる。その際、例えば、二つの度数分布多角形の形や位置関係に着目して、二つの度数分布多角形における分布の特徴について話し合う。その上で、見いだした分布の特徴から結論をいうためにふさわしい根拠となるものを取り上げ、判断したこととその理由について説明する活動を取り入れる、など考えたい。また、日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決することができるようにするためには、問題を解決するために計画を立て、必要なデータを収集して処理し、データの傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するという一連の活動を充実させることを大切にしたい。

◇ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見いだし、それを数学的に表現することができるようにする。

- ・ある条件の下でいつでも成り立つ性質や関係を捉え、それを数学的に表現することや、観察や操作、実験などの活動を通して、図形の性質を見いだし、発展的に考察することができるようにしたい。
- ・指導にあたっては、条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだす活動を行い、例えば、今回の設問のように、動かす三角形を別の三角形に変えて、同じ条件で動かして観察することを通して、辺や角についての性質を見いだし、それを数学的に表現する場面を設定する。そして、2つの角について見いだした性質を共有した上で、さらにいえることはないか考えたり、見いだした性質を関連付けて考えたりする活動を取り入れる。また、予想した事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて考えたり、条件を変えるなどして発展的に考察したりするために、例えば、今回の設問のように、二つの三角定規を組み合わせてできる四角形について考察する場面を設定し、二つの三角定規の辺どうしを重ねて並べた場合や、辺を重ねた状態から条件を保ったまま図形を動かした場合にできる四角形を予想し、予想した事柄が成り立つ理由を説明する活動を取り入れる。さらに、動かす三角定規を変えて条件を保ったまま図形を動かしたときに重なったところにできる図形について、いつでも成り立つ事柄を見いだし、それを数学的に表現できるようにする。このような活動を通して、平行線や角などの図形の性質を基に、図形を考察することができるようにすることが大切である。

Ⅱ 児童生徒質問紙調査の回答状況より

(いなべ市小中一貫教育成果指標に係る児童生徒質問紙の回答状況)

児童生徒質問紙調査の中から、いなべ市小中一貫教育成果指標に係る項目について、その回答状況を三重県及び全国の結果と比較してまとめました。

<小学校> 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

1 勉強が好きの子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
国語の勉強は好きですか	49.8	-6.3	-8.6
算数の勉強は好きですか	72.3	+2.4	+4.5

2 主体的に学ぶ子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	84.7	+6.5	+6.5
授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものをつくりだしたりする活動を行っていましたか	68.8	+5.1	+1.6
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	77.1	+4.3	+3.1

3 自分のよいところを伸ばし、挑戦する子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	82.0	+10.5	+11.1
自分には、よいところがあると思いますか	84.4	+8.4	+7.5

4 健康で思いやりのある子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
人が困っているときは、進んで助けていますか	94.3	+4.2	+5.6
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.3	+1.0	+1.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.8	+1.0	+1.3

5 友だちと協力し、達成感を味わえる子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
友達と協力するのは楽しい	96.2	+2.0	+2.3
学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かしながら解決方法を決めていますか	83.6	+13.6	+10.2

6 ふるさと“いなべ”を愛する子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
今住んでいる地域の行事に参加していますか	90.1	+24.4	+32.0
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	60.2	+9.5	+7.8

7 将来の夢や目標に向かって努力する子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
将来の夢や目標を持っていますか	81.5	+1.8	+1.2

【まとめ】

- ほぼすべての項目について、肯定的な回答率が高い値となっており、全国や三重県と比べても高くなっている。特に「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」「学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かしながら解決方法を決めていますか」「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の回答率が、全国や三重県より10ポイント以上高くなっている。これら傾向は、過去の調査も同様であることから、いなべ市内の教育活動の一つの大きな成果といえる。また、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に対する肯定的な回答の経年変化をみると、年々上昇してきており、今回初めて60%を上回った。これまでの取組の成果といえる。
- 最も大きな課題は、「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答率が、全国や三重県より低いことである。そして、このことについては、過去の調査でも同様の結果が出ており、残念ながら改善が図られていない。中学校の調査では、ほぼ全国の回答率と変わらない結果となっていることから、小学校の低学年の段階から「国語が好きになる（国語を好きにさせる）」具体的な取組を継続して行っていく必要がある。なお、「算数の勉強は好きですか」については、過去の全国平均を下回っていた状況から徐々に改善し、前回調査（H31）から70%を超えるようになった。

<中学校>

1 勉強が好きの子 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
国語の勉強は好きですか	62.6	+1.6	+1.8
数学の勉強は好きですか	65.8	+6.6	+6.7

2 主体的に学ぶ子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	87.0	+3.1	+6.0
授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものをつくりだしたりする活動を行っていましたか	61.3	+2.4	+1.8
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	65.1	+0.1	+1.6

3 自分のよいところを伸ばし、挑戦する子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	74.5	+6.0	+8.6
自分には、よいところがあると思いますか	73.7	-3.8	-2.5

4 健康で思いやりのある子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
人が困っているときは、進んで助けていますか	93.2	+2.7	+4.7
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.4	+0.1	+0.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.2	-0.5	+0.2

5 友だちと協力し，達成感を味わえる子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
友達と協力するのは楽しい	94.0	-0.6	+0.7
学級では，学級生活をよりよくするために学級会で話し合い，互いの意見のよさを生かしながら解決方法を決めていますか	80.8	+5.4	+6.9

6 ふるさと“いなべ”を愛する子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
今住んでいる地域の行事に参加していますか	66.7	+14.2	+23.0
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	48.7	+1.8	+4.9

7 将来の夢や目標に向かって努力する子

質問項目	いなべ市	三重県との差	全国との差
将来の夢や目標を持っていますか	67.5	-2.8	-1.1

【まとめ】

- ほぼすべての項目について、肯定的な回答をした割合が全国や三重県を上回っている。数値としては、小学校の結果より低いですが、これは全国的な傾向でもある。
- 質問項目「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」については、全国や三重県を下回っており課題の1つではあるが、当該学年が小学6年生の時に行った調査結果よりも（「よいところ」全国との差 -4.5 → -2.5、「夢や目標」全国との差 -3.3 → -1.1）と改善している。しかし、約3割の生徒が、自分自身への自信や、将来の夢や目標を持っていないということは、キャリア教育の観点からも大きな課題と捉えたい。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と肯定的に答えた割合が50%弱だった。過去に比べるとその割合は少しずつ増加してきてはいるが、まだまだ低い値である。今後も社会科や未来いなべ科等の時間の中で、今以上に地域社会に目を向ける活動を取り入れていきたい。例えば、SDGsをテーマに様々な学習や取組を行うことは大変有益であると考えます。

Ⅲ 学校質問紙調査（小学校）の回答状況より

学校質問紙調査の結果から、全国の回答状況と比較して特に差の大きかった項目についてまとめました。今後は、強みをさらに伸ばし、弱みを少しでも克服するための取組を行っていきます。

【強み】 80%以上の学校が肯定的に回答し、全国との差が+10ポイント以上となった質問項目

N0	質問事項	いなべ市	全国差
7	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100	+11.5
29	児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	100	+14.7
30	児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	81.8	+13.5
57	児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	100	+17.8
77	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	90.9	+31.8
78	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	100	+42.6
79	平成31年度（令和元年度）の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	81.8	+33.8

【弱み】 肯定的に回答した学校が80%未満で、全国との差が-10ポイント以上となった質問項目

N0	質問事項	いなべ市	全国差
24	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	54.6	-27.8
25	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	54.6	-21.3
34	児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	72.8	-14.9
37	児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	63.7	-17.7
50	児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	36.4	-20.2
62	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会などを十分に設けていますか	27.3	-40.3

IV いなべ市の取組について

1 小中一貫教育の推進

義務教育の9年間の学びと育ちを見据え、発達段階や教育上の課題に応じた、一貫性のある系統的かつ継続的な学習指導や生徒指導を、小中一貫教育を手法として進めていきます。

2 NRTの実施

毎年4月、小2年生～中3年生を対象に、NRT（標準学力検査）を実施しています。前学年の学習内容における学力の定着状況を明らかにし、児童生徒の「強み」「弱み」に基づいた効果的な学習指導の在り方を検証していきます。

3 指導主事等による学校訪問

教職員の指導力向上を図るため、指導主事や学力向上特別指導員を派遣し、授業改善のための指導・助言を行います。

4 教職員の研修

いなべ市教育研究所による研修講座を充実させ、教員の指導力等の向上に努めるとともに、いなべ市教育研究会と連携して研究・研修活動の充実を図っていきます。

V 各学校における学力向上の取組について

1 学級集団づくり

自尊感情や学習意欲の向上を図るため、その土台となる学級集団づくりに取り組みます。特に、年間2回実施しているQ-U（学級満足度調査）を活用し、ルールやマナーづくりを通して、一人ひとりの規範意識を高めるとともに、友だちに寄り添い、互いに高まり合えるいじめのない学級集団づくりを進めていきます。

2 授業改善

授業改善を主とした「授業づくり研修」を行い、指導の在り方を検討したり、新しい授業方法に挑戦したりしていきます。研修を通じて学んだことは、それぞれの教職員の指導に活かしていきます。

3 NRT、全国学力・学習状況調査等の分析

NRTや、全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果分析により、児童生徒の学力状況をできるだけ細かく分析し、明らかになった課題を克服するため日々の授業改善に努めます。

4 生活習慣づくり

児童生徒の健やかな成長のため、規則正しい生活習慣づくりに努めます。特に、メディアとの接触や、携帯・スマートフォンの使用における家庭でのルールづくりにおいて、学校と保護者、地域が連携し、さまざまな取組を実施していきます。